

東日本大震災
津波浸水実績



□津波対策上の問題点

- ・防潮堤高を 14.3mにしてもかなりの範囲が浸水する。
- ・島越駅付近の流速、流体力が大きくこの付近には建物を建てる事が出来ない。



□津波対策 (案)

- ・既存の防潮堤は T.P.+14.3mまで嵩上する。
- ・漁港防波堤も+2m 嵩上し、津波の高さを低減させる。
- ・三陸鉄道北リアス線は T.P.+10.0m (現況) とする。
- ・小学校跡地付近の谷幅が狭い箇所に二線堤を整備する。
- ・二線堤より西側の宅地部を嵩上し宅地造成する。

□今後の検討課題

- ・左記対策においても、島越駅付近の流速、流体力が大きく鉄道軌道、島越駅をどのようにして守るかについての検討課題が残る。

